

かしわ



No. 12 「かしわ祭」特集号

平成27年11月25日

「かしわ祭」を振り返って

校長 北村 耕一

11月7日(土)、天候にも恵まれ、平成27年度の「かしわ祭」を無事に開催することができました。当日は、多くの保護者・家族の皆様、近隣の各学校の先生方、地域の皆様に足を運んでいただきました。(来校者178名)ありがとうございました。

午前中は園児児童生徒の演目が行われ、10月半ばから練習してきた劇・手話ソング・ダンスを発表しました。午後は展示されている作品を鑑賞した後に、職員劇が発表され、好評を得ることができました。

本校では、「かしわ祭」(文化発表会)と運動会を隔年で実施しています。それぞれ、学部の教職員が日ごろ教えている学習内容を土台として、子どもの豊かな感性の発表の場となっています。

子ども個々の状況に応じた様々なコミュニケーション手段を使用する指導は、時間と技術が必要となります。本校の教職員の「手間暇を惜しまない」指導には、いつも感謝しています。

「かしわ12号」は「かしわ祭特集号」としました。各担当者から、当日、あるいは練習の様子について書いてもらいました。お読みいただきたいと思います。

「かしわ祭」の取り組み

教諭(かしわ祭実行委員長) 山田 理加

11月の声を聞いてから急に秋らしくなり、肌寒い日も出てきていたので、心配していましたが、7日(土)は朝から穏やかな良い天気となり、ホッとしました。

ご家族や卒業生、地域の方々や、かつて本校で働いていた教職員など、大勢の方にご足労いただき、毎日練習していた子どもたちの気持ち、一段と盛り上がるのがよくわかりました。いつも子どもたちを見守ってくださるありがたさを、また本校の人と人のつながりを改めて感じる日にもなりました。

今年は、2年前には行われなかった職員劇が復活しました。忙しい合間を縫って、短い時間であれだけのものを作り上げてしまう先生方の連携の素晴らしさも、本校ならではのものだと思います。舞台袖からちらりと子どもたちの様子をうかがうと、どの子どもも目を輝かせて見入っており、オオカミに子ヤギが食べられてしまうシーンでは(『オオカミと七匹の子ヤギ』をやりました。)、驚きのあまり口が開いてしまう子もいました。

今年度、私自身は初めて小学部の担当になりましたが、劇の中に出てきた大道具の木を見て、「僕が幼稚部のときに『サルカニ合戦』

で使ったね。」と小学部5年生の児童が懐かしそうに話してくれたり、お昼休みに、本校の卒業生の方から「自分が小学部の時にも、『オオカミと七匹の子ヤギ』をやったので懐かしい。楽しみにしています。」と話しかけられたりと、端々に本校の長い歴史の一端を感じる出来事もありました。

この大きな行事が、まもなく90周年を迎える本校の歴史をこれからも紡いでいってほしいと願っています。ご来校くださった皆様方、本当にありがとうございました。

幼稚部 劇「大きなかぶ」

教諭 岩野 恵美子

子ども達に、今年のかしわ祭で劇「大きなかぶ」を行うことを伝えると大喜びでした。配役は、すみれ組の子ども達に考えて決めてもらいました。「僕がおじいさん役をやりたい。」「僕もやりたい。」とやはり人気でした。「私はおばあさん役をやりたい。」「いぬ役は、〇〇君がいいね。」「ねずみ役は、〇〇ちゃんがいいよ。」など、張り切って決めてくれました。また、歌の中のポーズ(ハイ、ホイ、ヨイショ、ワン、チュー!!)も自分で考えて決めました。

10月に入ってから、各クラスで台詞の練習を始めました。「お家で練習した?」と聞くと、「いっぱい練習したよ。」「あつ、忘れた。」などと、毎日お互いの練習の様子を確認し合いました。体育館の練習が始まる頃には、もう友達の手話まですっかり覚えているようになっていました。毎日、約束3つ:「①お客さんに聞こえるように、大きな声で言う。②先生をよく見る。③手話を大きくする。」の合言葉を胸に、一生懸命練習に取り組みました。

当日は、練習の成果を十分に発揮して、今までで一番よい発表ができたと思います。よい緊張感を味わうことができ、お客さんからの沢山の拍手をいただき、子ども達は大きな自信に繋がったことと思います。



小学部 手話ソング・ダンス

教諭 最上 裕美、教諭 鴨 佐和子
かしわ祭の練習が始まると、毎朝必ず、何人かの子どもたちから、「昨日、ニンジャ祭りの練習を家でやったよ。」と元気な報告がありました。その成果もあって、当日の小学部の子どもたちのダンスは、元気いっぱい、息もピッタリで、笑顔も見られました。

手話ソング「かたりあおう」は、4月から音楽の時間に少しずつ練習をしてきました。みんなこの曲が大好きで、休み時間に歌っている子どももいました。後期に入って、みんなですらって練習を始めました。「ほほえみ」「やさしさ」など大切なことばをていねいに歌ったり、「生きていこうよ」の指さしを高くしたり、みんなで工夫して歌いました。本番では、みんなの気持ちが一つになり、心のこもったよい演奏ができました。

毎日の練習の中で、学年の縦と横のつながりを感じながら、みんなでいっしょに身体を動かすこと、リズムに合わせることの難しさや楽しさを体験しました。「みんなで気持ちを合わせて一つのことを成し遂げる」という大切な学習ができました。振り返りのビデオを見たとき、ビデオに合わせて、踊ったり、歌ったり、手話をしたりしている姿を見て、本当にこのダンスと歌が好きだったのだとほほえましく思いました。

かしわ祭が素晴らしいステージとなったことをこれからの自信につなげて欲しいと思います。



ダンス「ニンジャ祭り」イヨオー！

小学部 劇「わらしべ長者」

教諭 宮井 孝典
今年は何の劇をしようか、子ども達と相談しました。子ども達から出てきた希望は、「ジャックと豆の木」「アナと雪の女王」「十二支の話」などでした。この3つ、劇として作れそうなところと、どのように形づくったら良いのか分からないところがありました。

希望を出してくれた子ども達には申し訳ないのですが、みんなの出番が多く作れそうな「わらしべ長者」に決めました。子ども達の活躍の場を多くすることを心がけましたが、終わってみると、もっと台詞や動きに工夫することができたようにも思いました。

発表に向け、ご家庭から様々なご協力をいただきました。ありがとうございました。



中高等部 劇「30年後のわたしたち」

教諭 勝 康雄
中・高等部では、朝の会で司会を担当する生徒・教師が「今日のニュース」を発表しています。ある日の朝の会で、渡邊先生が「2045年にロボットの人工知能が人類を超えるかもしれない」という話題を紹介されました。その話と、2030年に鉄腕アトムが生まれたという設定(当初は2003年という設定)を合わせて、今回の劇を考えました。

特に、高等部を卒業して本校から巣立っていく生徒が二人いるので、劇中に発表する在校生へのメッセージを、4人中・高等部生に考えてもらいました。それから、手話ソングはメドレーにして、今まで積み上げたものの集大成としました。

生徒・教師ともに風邪や腰痛で体調が万全でない人が多く、十分な練習ができませんでしたが、本番が近づくにつれ、演技を工夫し、手話ソングの表現も上達していきました。そして当日、小学部の児童が自分の席で手話ソングと一緒にやっていたのが、うれしく思いました。



お知らせ

例年12月にPTAと学校の共催で実施している「もちつき大会」ですが、今年度、新型ノロウイルスの大流行が予想されている新聞報道や毎年、保健所から指導を受けていることを検討し、参加者の健康と安全を優先して中止いたしました。ご理解と了承をお願いします。

12月の主な予定

- 12/ 1(火)小学部交流(12/8、12/15、12/22日)
- 12/ 2(水)幼稚部誕生会、高等部情報処理技能検定
- 12/ 3(木)幼稚部交流(12/10、12/17日)。
- 12/ 4(金)全校清掃(体育館)
- 12/ 7(月)昼休み集合写真撮影②。
- 12/ 8(火)幼稚部お店屋さんごっこ。
- 12/ 9(水)親の会懇親会、PTA給食試食会
高等部情報処理技能検定。
- 12/11(金)通級ケース会(12/15、12/16、12/18日)
- 12/14(月)昼休み集合写真撮影②。避難訓練
- 12/15(火)全校授業研究会、下校時間変更有
- 12/16(水)HA相談、幼小小学部お楽しみ会。
- 12/17(木)校内研修会。
- 12/25(金)給食終了、PM保護者面談。
- 12/26(土)～H28年1/7(木)冬季休業。

横須賀市立ろう学校

〒238-0023 横須賀市森崎 5-13-1

TEL 046-834-1172

FAX 046-834-0096

※学校HPも更新しています。ご覧ください。